



# ★★人間ドック限定★★

新規オプション検査のご案内

この機会に人間ドックを受診してみませんか？

## すい臓がん腫瘍マーカー

### APOA2 〈アポリポ蛋白A2〉

※CA19-9の受診が必須です 1,980円(税込)

特別  
料金

4,180円

初年度限定！  
特別料金！！

通常料金 4,950円

## 新しいすい臓がんの検査ができました

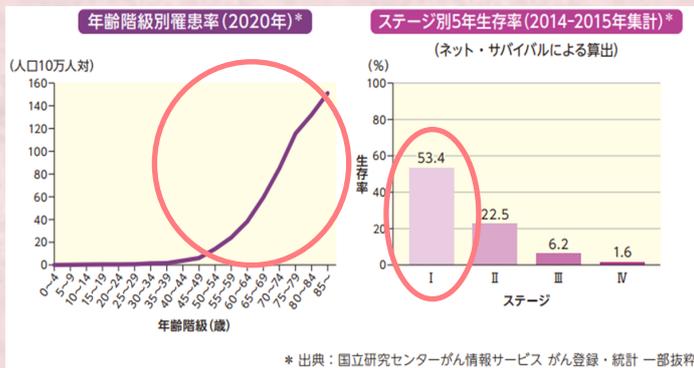
既存の腫瘍マーカーとは異なる物質（APOA2アイソフォーム）を測定するため、これまで検出されなかったすい臓がんを見つけられる可能性があります。

詳しくはこちら



## 早期発見で生存率が格段に高くなります

すい臓がんが発生しても小さいうちは症状が出にくく、早期の発見は簡単ではありません。進行すると、腹痛、食欲不振、腹部膨満感（おなかが張る感じ）、黄だん、腰や背中への痛みなどが起こります。60歳頃から増加し、高齢になるほど罹患率が高くなります。年間約4万人の方がすい臓がんで亡くなっている一方、早期発見で5年生存率は高くなります。早期発見で治療の選択肢が増え、予後の改善にも繋がります。この機会に是非ご受診ください。



## おすすめする方

- ・生活習慣病（糖尿病・肥満）の方
- ・喫煙、飲酒習慣がある方
- ・すい臓がんの家族歴がある方

## sd-LDL (超悪玉コレステロール)

3,960円

## sd-LDL (超悪玉コレステロール) とは？

通常のLDL (悪玉コレステロール) よりも小さく、血管壁に侵入しやすいため、動脈硬化のリスクを高める原因となります。

詳しくはこちら



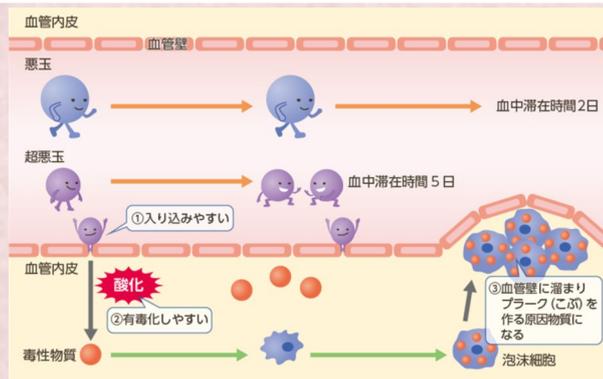
## sd-LDL (超悪玉コレステロール) が多いとどうなる？

## 動脈硬化のリスクが高まります

LDL (悪玉) は、血液中を流れているだけなら悪さはしません。血管壁の中に入って酸化されることで血管をつまらせるプラークの原因物質となります。

その中でもsd-LDL (超悪玉) は、血液中に長くとどまりやすいうえ、通常のLDLより小さいので血管壁の中に入り込みやすく、さらに酸化しやすい性質を持っています。

そのためsd-LDLが多いと動脈硬化を可能性が高まります。



出典 「sd-LDLどっとこむ (https://sd-ldl.com/)」

## おすすめする方

- ・狭心症や心筋梗塞の病歴がある方
- ・狭心症や心筋梗塞の家族歴がある方
- ・血圧が高い方
- ・中性脂肪値が高い方
- ・内臓脂肪型肥満がある方
- ・善玉 (HDL) 値が低い方



# 新規オプション検査のご案内

## 脳健康度AI解析(エムビジョンヘルス)

6,270円

※頭部MRI+MRAの受診が必須です 23,650円(税込)

### 高精度のAI (人工知能) が脳の健康状態を数値化

脳は加齢とともに神経細胞が減り、隙間が大きくなっていきます。エムビジョンヘルスは、米国ジョーンズホプキンス大学が開発した高精度のAI (人工知能) によって、脳ドックのMRI撮影画像データから全脳505構造を解析します。そして、3万件以上のビッグデータと比較の上、認知症のリスク因子である脳の萎縮・白質病変を定量的に評価できます。

詳しくはこちら



### エムビジョンヘルスで分かること

#### 脳萎縮の同年代比較

萎縮がどの程度であるのか、そして萎縮が同年代と比較して早い速度で進行しているのかを知ることが重要です。萎縮の度合い、経年の変化を見ることができます。

#### 部位別の脳萎縮評価

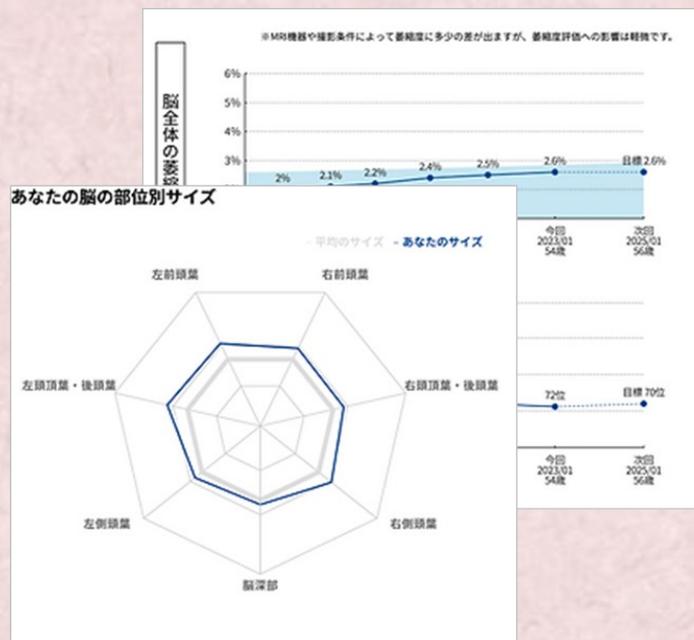
脳の萎縮がどの部位で特に進行しているのかを可視化します。脳全体を7つの部位に分けた詳細な萎縮度の評価も可能です。

#### 脳血管健康度の測定

脳血管の健康度を測る指標である白質病変の体積を数値化し、その推移を把握できます。

#### 健康アドバイス

脳の健康に欠かせない生活習慣のアドバイスを結果票に記載します。



※結果票はイメージです

### 検査の流れ

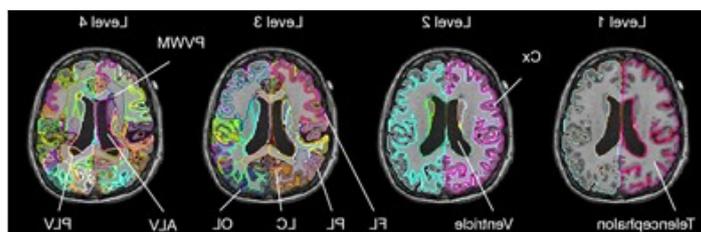
#### 頭部MRI+MRA

頭部のMRI画像の撮影  
腫瘍、脳血管障害などを  
専門医が診断



#### AI画像解析 (エムビジョンヘルス)

今回と過去のMRI画像を  
エムビジョンヘルスでAI解析  
(全脳505構造を解析)



#### 結果報告

同年代との比較  
グラフで経年変化

#### 脳血管健康度 | 評価サマリー

あなたの脳血管健康度

あなたの白質病変体積 3,658ml  
白質病変量評価 良好

脳血管健康度の目安のひとつである  
白質病変 (白質の中で開いた白い部分)  
の体積を算出しています。  
白質病変の量は、高血圧と強く関連し、  
また認知症リスクとも関連している  
と考えられています。  
白質病変の体積は加齢でも多少増えます。

あなたの脳血管健康度検出用画像

脳幹 (上から見左側) 中脳 (上から見左側) 後頭葉 (上から見左側)

脳血管健康度と白質病変

脳血管健康度の目安のひとつである  
白質病変 (白質の中で開いた白い部分)  
の体積を算出しています。  
白質病変の量は、高血圧と強く関連し、  
また認知症リスクとも関連している  
と考えられています。  
白質病変の体積は加齢でも多少増えます。

### POINT

おすすめの方 ・ 飲酒 ・ 睡眠不足 ・ 喫煙 ・ 脳の健康が気になる方 ・ 家族に認知症の方がいる方

タイミング 30歳代で一度、40~50歳代で2年に一度、60歳以上で毎年検査をおすすめします